

1. 単元名(活動名) 知る知る! セネガル					
2. 対象: 札幌市立札幌北小学校 3年 3組 (37名) 授業者: 森川 祐子		3. 学習領域			
		1	2	3	4
4. 教科領域との関連性: 学級活動 道徳		A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生
		Bグローバル社会	相互依存	情報化	
		C地球的課題	人権	環境	平和
		D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加
5. 実施時期: 2011年 2月~3月		6. 総時数: 5時間			
7. 単元(活動)目標: 【関心・意欲】 ○セネガルの生活、人々の暮らしに興味を持つことができる。 【技能・表現】 ○セネガルのあいさつやリズムなどを表現できる。 【知識・理解】 ○セネガルの子どもたちの生活を知る。			8. キーワード 文化理解 共感 親しみ 違い 子どものくらし		
9. 単元について(教材観・単元設定の理由・民博活用の視点など) 子どもたちは、テレビのニュース、スポーツを通して外国人選手の名前を知ったり、社会科での「食べ物の産地調べ」から外国名に触れたりしている。しかし、それは断片的であり、その国については「それしか知らない」ということが多い。あるいは、アフリカについては、ほとんど知らない子が多い。思い浮かべることとなると、「砂漠」「難民の子ども」「野生動物」などといった一面的なイメージをもつだけだろう。とても遠い国で、日本とはあまり関係がないと感じる子どももいるだろう。 今回の学習を通して、子どもたちが世界に目を向けるきっかけとなるようにしたい。そして、セネガルだけではなく、他の国について興味をもったり、自分から調べるような動機づけになったりすることを願う。 授業を通し、写真など視覚的に街の様子や文化に触れることになる。そのようなアフリカとの出会いによって「アフリカは貧しい」とだけで終わらせたくない。「アフリカはこんなことがあるから面白そう」とか、「日本はこういうよさがあるな・・・」などと、両国の「いいな」と思う姿をたくさん見つけてほしい。さらに、アフリカの人と同じだと、自分との共通の部分を見つけられたらいいと思う。違いを自然に受け入れ、「そういう見方もあるのか」「そういう文化域もあるのか」というような寛容な態度が身につく、日ごろの友達との接し方に反映されたいと考えている。					
10. 展開計画・展開記録					
次/時	主な学習活動と子ども(学習者)の意識			○留意点	
1	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">セネガルを知ろう!</div> <p>○担任が着ている衣装をみて、衣装から気がついたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャングルみたいな絵 ・色づかいが違う。 ・大きな木や枝とかが描かれている。 ・大きな葉が描かれている。 ・日本では見たことがない。 ・茶色は土だと思う。 ・黒人の顔に見える <p>○布から、どんな生活が想像できるか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒人がいる。 ・自然がたくさんありそう。 			<p>☆担任はセネガルの衣装を着る。</p> <p>☆一つのものから、たくさんのかたちを想像するよう声かけをする。</p> <p>☆セネガルの布を見せる。</p> <p>☆どの意見にも肯定的に認</p>	

- スープみたいなものを作っている。
- 家で料理しない • 半袖だからいつも暑そう。
- 高い建物がない。 • わらぶきの家
- 頭に何か巻いている。 • 昔話の日本みたい。
- 地面がコンクリートじゃない。 • 貧乏そう。
- 生活に困っていそう。 • 女の人にはピアスをしている。

○セネガルの様子を写真で見てみよう。
クイズ形式で考える。

食べ物



家



子ども



大人



○世界地図で場所を知る。

○あいさつを覚えよう。

- ☆「アッサラーム アライクム」(こんにちは)
- ★「アライクム サラム」(こんにちは)
- ☆「ナンガデフ」(お元気ですか?)
- ★「マンギフィ」(元気です)

める。

☆ワークシートに書く。



提示する布

☆ダカールの様子だけではなく、郊外の町の様子も示す。

☆パワーポイントをプロジェクターで映す。

☆サッカーをしている様子や学校の様子など親しみのもてる様子を示す。

☆基本データも伝える。

- 新千歳空港から飛行機で22時間
- 1月の平均最高気温26度
- 人口
- 土地の大きさ

2
3

握手をする。
女の子はひざを軽く折る。

セネガルのあいさつと日本のあいさつを交互に行う。

○ふりかえり

セネガルの子どもを知ろう。

○セネガルの子どもたちの普段の生活を紹介。

最初に自分の生活を振り返る。

- 起床時刻
- 家に帰ってからすること
- お手伝いの内容
- 大切なもの
- しょうらいの夢



ファタポ



モルゲイ

- 自分よりも起きるのが早いな。•私も家帰ったら宿題するよ。
- お手伝い毎日するなんてすごい。
- 自分も食器あらいを手伝うよ。
- 馬が家にいるのかな？
- たしかに学校は大切だけど・・・。
- 会ってみたいな。

○写真を使って紙芝居を作ろう。

※生活班に3枚一組の写真を配り、お話を作る。

※最初に説明した「ファタポ」か「モルゲイ」のどちらかを主人公にして一人称のお話として作る。

- これは何の様子の写真かな？
- こんなことを話していそうだな。
- 写真のすみずみまで見ると面白いな。

○グループごとに発表しよう。

○ふりかえり

☆パワーポイントで紹介する。

☆紙飛行機を折っている様子の写真を提示する。

☆フォトストーリーの手法を説明する。

☆3枚の写真を用意する。

☆ワークシート

目指せ セネガル マスター！

○ (チャレンジ1)
フランス語とウォロフ語のあいさつをマスターしよう！

フランス語

- ☆「ボンジュール」
- ★「ボンジュール」
- ☆「サバ？」
- ★ {サバ ヴィアン}
- ☆「メルスイ」

ウォロフ語

- ☆「アッサラームアライクム」
- ★「アライクムサラーム」
- ☆「ナンガデフ」
- ★「マンギフィ」
- ☆「ジュルジュフ」

- ・新しい言葉を覚えるのは楽しい！
- ・本当に通じるのか、試してみたいな。

○ (チャレンジ2)
頭の上にものを乗せて歩いてみよう！



- ・難しい！
- ・練習すると慣れるぞ。
- ・こんなふうにするなんて信じられない。
- ・楽しい！
- ・今度からこうやって運ぼうかな。
- ・疲れるんじゃないかな。

○ (チャレンジ3)
セネガルリズムを感じよう！



- ・リズムをとるのは楽しいな。
- ・体が勝手に動くよ。
- ・楽器に触ってみたいな。

○ (最終試験)
アタイヤ茶はどれか見つけよう！
『アタイヤ茶 緑茶 ウーロン茶』のうちアタイヤ茶を飲み比べて、どれがアタイヤ茶か探す。

- ・どれもお茶の色！
- ・甘い！
- ・お茶って透明なんだな。
- ・アタイヤ茶おいしいな。
- ・茶色いお茶が多いな。
- ・自分は緑茶が好きだなあ。

○ふりかえり

☆視聴覚室で行う。

☆チャレンジシート（別紙）を用意し、意欲をもってセネガルならではの文化を体験するように支援する。同時にどのように感じたのかふりかえりもしていく。

☆洗面器にお手玉を入れたものを頭に載せて歩いてみる。

☆様子の動画か写真を提示する。

☆動画を提示する。
☆動画に楽器を合わせる。

☆事前に準備をしておく。

11. 評価計画：

道徳と学級活動なので、評価は行わないが、以下の観点で子どもの様子を見ていく。

- 【関心・意欲】 セネガルの生活、人々の暮らしに興味をもつことができたか。
- 【技能・表現】 セネガルのあいさつやリズムなどを表現できたか。
- 【知識・理解】 セネガルの子どもたちの生活を知ることができたか。

評価方法： 様子の観察
ワークシート

12. 苦労した点・改善点

外国の文化を知るおもしろさを伝えるための授業を組み立てた。が、伝えたいばかりに、与える一方の授業となってしまった。外国文化に慣れていない子どもにとっては、言葉や人物、街の風景、全てが興味深かったようで、それに乗じて授業を進めていってしまった感がある。授業には勢いも大切だとは思いますが、もう少し、じっくりしっとり考えながら進めていく要素があってもよかったと思う。

授業を作っていく中では、どの写真を使えばいいのか、選ぶことに苦労した。意外性のある写真を使ったらいいという話を聞いていたが、事前にセネガルの紹介をしていたことと、主人公となるファタポとモルゲイのインタビュー事項について触れていたため、子どもたちはその世界観で物語を書いた。意外性という面では、薄まってしまったように感じる。

4枚の写真を使って、フォトストーリーを作らせたことと、その作業に慣れていなかったため、時間がかかりかかった。3枚の写真で十分だった。

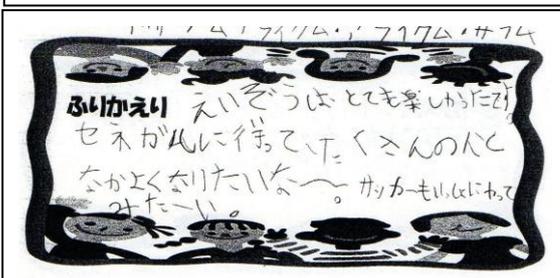
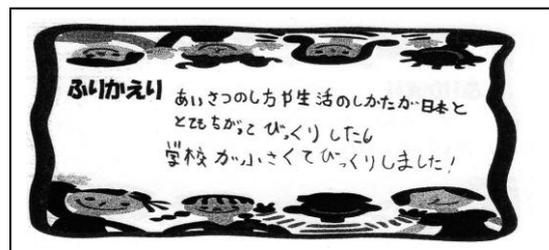
13. 授業づくりのための参考資料

- ・写真（研修参加者、実践者撮影）
- ・参加型学習で世界を感じる 開発教育実践ハンドブック DEAR 開発教育協会

14. 学びの軌跡（感想文、作品、ノートなど）

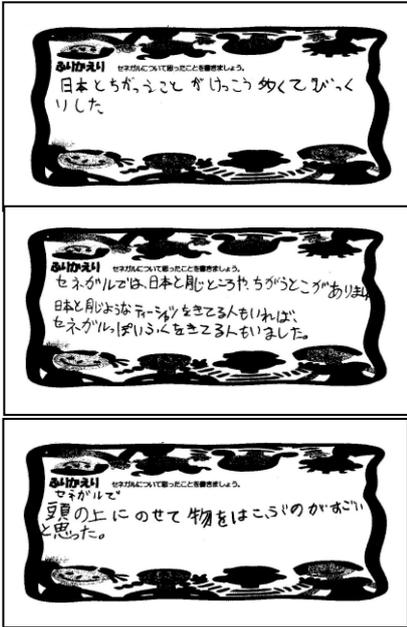
◎一時間目

子どもたちはセネガルという今まで知らなかった国の文化に興味津々だった。パワーポイントの写真一つ一つを細かいところまで見て、こちらが思っていた以上に大きな反応を示し、あいさつは大きな声にだして、夢中になった。アフリカというと「貧しい」というイメージだった子どもも多かったが、写真を見ることにより、「貧しさ」というよりも、生活や言葉が「本当に」違うという「事実」に驚いているように見えた。最初にあいさつの練習をしたが、その後、子どもたちと私の間で「アッサラムアライクム」「アライクムサラム」というあいさつのくだりが流行した。子どもたちの感想からは、「言葉が違ってびっくりした」「あいさつやいろいろな言葉をもっと知りたい」「セネガルのあいさつをおぼえてうれしい」などと新しいことを知ったことによる、驚きや興味に関するものが多く見られた。



◎2、3時間目

セネガルの子どもたちに焦点をあて、子どもたちの生活の一部を知ったり、彼らの生活を想像したりすることで、より身近にセネガルのことを感じる事ができたように思う。ファタポさんとモルゲイくんという名前を出したことにより、「会ってみたいな〜」という子もいた。



写真から お話を作しましょう。読んでいる文を入れましょう。

	ファタポの通学路でいつも 四人の男の子がたいてこまたいて いる。「今日もいい景色だね。」
	ファタポの通学路で男の子たちが サッカーの練習をしていた。 ファタポがいた。 「学校、行かないの?」 ファタポが歩いていて、 一つの市場があった。そこには おいしい魚が売っていた。でも ファタポは通りすぎた。よく見るから。 ファタポのクラスには30人ほどの 生がいる。ファタポは学校にいった みんなはい。た。 「アキラ4、アキラ4」

写真から お話を作しましょう。読んでいる文を入れましょう。

	ぼくたちの国では豆乳に物をのせて はこびます。落さないようにしな うにはこびます。
	豆乳の上に水が入っているペスト トルは重くてのけれないので、ま ごもがよこびます。
	夜にやたしをひらくので、屋からじん びをします。クーラーボックスをも つて、重たくていへんです。
	次の日、ぼくはあそくにねてしまったので 朝起きるのがたいへんでした。学校に つきました。休日は、日本と同じで お休みです。

◎4、5時間目

セネガルの文化を体感した。「セネガルマスターになろう!」という投げかけにより、子どもたちは最後まで全員が口を動かし、体を動かし、アフリカ文化に楽しんで取り組むことができた。意欲的に活動する一方で、チャレンジということで、「体験」よりも合格しなきゃ! というような「テスト」の要素もでてしまった面があり、楽しむより、緊張しながら臨んだ子もいた。

これらの体験を通し、最初は「セネガルへ行ってみたいな」「違うな」「『さようなら』はセネガルではなんて言うのかな」といった初歩的な感想だったが、学習が進むにつれ、見方も一歩進んで「セネガルの人にとって、このお茶(アタイヤ茶)は、どう感じているのかな」「セネガルの人にとって日本茶はおいしいと感じるかな?」と相手の立場にたった発言が聞かれた。また、「日本のお茶っておいしいな」と日本について振り返る発言や「ほかの国についても調べてみたい」という声も聞かれ、この学習を通し、多少視野が広がった様子が見られた。

感想を思ったこと
セネガルの人と日本の人は、まぎくのとこもあるし同じようなとこもあると思いました。

とても楽しかったです。もともとセネガル言語はセネガルの事をしりたいです。ほんとうに楽しかったです。アタイヤ茶はとても美味しくセネガルじんはおいしいなっておもった。

いつか、ファタポさんとモルゲイ君と友だちになりたいです。

セネガルの問題や、飲み物を食べたり、答えたりしました。たのしかったです。また、ちがう国の、べんきょうして見たいです。



15. 備考（授業者による自由記述）

実践した授業での反省をもとに、指導案（2，3時間目のフォトストーリーの部分）とワークシートは修正してあります。

単元名 知る知る セネガル

名前

学習日 月 日

セネガルを知ろう！



気がついたこと

どんな生活か想像してみよう。 食べ物、気候、家の様子、くらしなど・・・

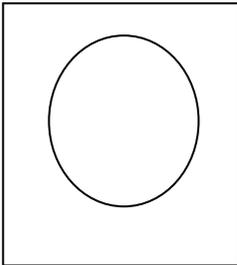
ふいかえい



セネガルの子どもを知ろう！



自分の生活をふいかえろう

			
名前			
朝起きた時こく			
家に帰ってすることといえば？			
お手伝いの内容			
大切なもの			
しょうらいのゆめ			



ファタボ



モルゲイ

写真から お話を作きましょう。話している文を入れましょう。









ふいかえり

セネガルについて思ったことを書きましょう。





ファタボ



モルゲイ

写真から お話を作きましょう。話している文を入れましょう。



ふいかえり

セネガルについて思ったことを書きましょう。





ファタポ



モルゲイ

写真から お話を作きましょう。話している文を入れましょう。



Four horizontal dashed lines for writing a story based on the first photo.



Four horizontal dashed lines for writing a story based on the second photo.



Four horizontal dashed lines for writing a story based on the third photo.

ふいかえり

セネガルについて思ったことを書きましょう。





ファタボ



モルゲイ

写真から お話を作きましょう。話している文を入れましょう。

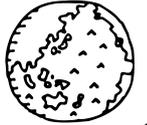


ふいかえり

セネガルについて思ったことを書きましょう。



目指せ セネガル マスター!



☆4つのセネガルチャレンジに挑戦して、セネガルマスターを目指そう

チャレンジ1



チャレンジ2



チャレンジ3



さいしゅう しけん